



独立行政法人 理化学研究所

第4回 原子核グループ月例コロキウム

The 4th RIKEN Nuclear Physics
Monthly Colloquium

核構造の多様性

堀内 昶 氏

京都大学大学院
理学研究科

Abstract

核子多体系が作る構造の多彩さや豊かさについてこれまで手がけてきた多様な核構造の研究を中心に話します。平均場形成とクラスター形成という異なる

動力学が共存する核子多体系の構造はまだまだ汲み尽くせていないというのが実感です。不安定核についての増加しつつある情報は核構造の豊かさを実証して来ましたがこれからますます期待される所です。話の主な材料として今回は次の三つのテーマを選びました。一つは中性子と陽子の分布の異なった変形の問題、二つ目は超変形状態とクラスター状態の関係について、三つ目は希薄密度を持っていて‘ガスの’とも言える状態の存在についてです。

2005年7月19日(火) 13:30
仁科記念棟2F 仁科ホール

お問い合わせ:

核物理セミナー委員会

担当: 小濱洋央

npsoc@rarf.riken.jp